

岩手県技術士会会議録

会議の種類	平成23年度 第6回役員会（拡大）		
開催日時	平成24年1月18日（水） 12時00分～14時20分		
開催場所	エスポワールいわて		
出席者氏名	村上功(会長)、出口清悦、黒墨秀行、駿河弘美、保憲一、淺利宗徳、小原正明、平野至史、海野伸、佐々木佳裕、鈴木浩行、菊地郁子（事務局）、（橋本正志 東北本部事務局長）		
参加人数	13人	会議録作成者	駿河 弘美

【主な決定事項及び検討事項】

協議事項

1 地域組織について

地域組織の設置運営に関する規則について、東北本部橋本事務局長から説明をいただいた。現組織を岩手県支部に改組した場合、運営面で現行と大きく異なる点は次のとおり。

- ・ 現行の乙会員は、会誌定期購読者等となり、会員ではなくなる。ただし、CPD 行事等への参加を妨げるものではない。
- ・ 現行の甲会員にのみ議決権、選挙権、被選挙権が与えられる。
- ・ 岩手県支部の会計報告を東北本部に提出するなど、厳格な会計管理が求められる。
- ・ これまで、東北本部から配分されていた活動費に加え、統括本部からの CPD 活動費（約 20 万円）が使えるようになる。

橋本東北本部事務局長退席後、役員会は次のとおり決定した。

- ・ 現在、当会は任意団体であるが、今後もこの組織が活動を進めるためには組織の位置付けを明確にする必要があるため、公益社団法人日本技術士会の岩手県支部設立を目指す。
- ・ 今後、当会会員に状況を説明し、支部設立に向けて理解を得る。その第一弾として、今月 28 日に説明会を開催する。
- ・ 支部設立に必要な発議書は、当会会員の総意を確認の後に作成する。
なお、会員の総意は 6 月頃開催する総会で確認するため、支部設立は事務手続きのスケジュールを勘案すると早くても平成 25 年度になる見込み。

2 新春講演会準備の最終確認

今月 28 日に開催する新春講演会の準備状況や当日の役割分担について確認した。

3 日刊岩手建設工業新聞「技術士の目」の延長及び担当委員会の変更について

新聞社から打診があった平成 24 年度の連載の延長について承認された。また、連載に関する担当を総務委員会から広報委員会に変更調整することが報告された。

以上